

IGLグループは約60の事業所を展開しています。毎号、各施設からのお便りをお届けします！

施設だより

vol.6

社会福祉法人IGL学園福祉会

老人保健施設 ベルローゼ

開設30年、当法人唯一の老人保健施設であり、在宅復帰・在宅療養支援機能が最も高い「在宅復帰超強化型老健」として運営をしています。専門職による個別リハビリと、生活リハビリにより多職種で在宅復帰を支えます。



住所	〒731-0154 広島市安佐南区上安6-31-1
電話	(082) 830-3333
開設	1996年4月19日
職員数	71名
定員	介護老人保健施設(長期)) 90名 短期入所療養介護 通所リハビリテーション 80名

※2025年4月現在



老健でのお花見行事では、見た目も華やかなお花見弁当を食べて頂き、歌って踊って大いに盛り上がりました。

また、ベルシャレー全体での季節行事として「ベルcafé」を開催！ご利用者様、職員ともに楽しめるcaféの、次の開催は7月の予定です。

職員は着物でおもてなしました(ベルcafé)▶



ひとこと

老健ベルローゼでは、在宅復帰を目指す「超強化型」の施設として、少しでも利用者の方々のADLを上げられるよう連携のとれたスタッフで日々努力を重ねています。



小野 栄治 施設長



4階 お花見行事



5階 お花見行事



お点前を披露(ベルcafé)

LOVE注入♥レシピ



忙しいママパパや、お料理が億劫になりがちなシニアの皆さんへ季節のレシピをご紹介します。

春キャベツの ロールキャベツ



作り方

- 1 春キャベツの葉は電子レンジでしんなりさせる。
- 2 ボールに、ひき肉、みじん切りした玉ねぎ、卵、パン粉を加えて塩コショウし、こねます。粘りが出たら8等分します。
- 3 1のキャベツで、2のタネを巻きます。
- 4 鍋に水を入れて沸騰させ、コンソメとケチャップを加えて混ぜます。そこに、3のロールキャベツを入れて更に火にかけ、沸騰したらコトコト弱火で15分煮込んだら完成です。

★ コツ・ポイント

キャベツの硬い芯のところは、薄く削ぎ取っておいたほうが、巻きやすいですよ！

材 料 (4人分)

春キャベツ	8枚
牛豚合挽き肉	500g
玉ねぎ	2分の1個
卵	1個
パン粉	大さじ5
塩コショウ	少々
水	カップ
コンソメ	大さじ2
ケチャップ	大さじ5

スタッフを募集しています

私たちとIGLで働きませんか。詳しくは採用ホームページをご覧ください。



- 保育教諭 ●保育士 ●正看護師 ●准看護師
- 歯科衛生士 ●ケアスタッフ(介護職)
- ケアマネジャー ●相談員 ●送迎ドライバー
- キッチンスタッフ など



IGLグループ

【本部】 〒731-0154 広島県広島市安佐南区上安6丁目31-1 <https://www.igl.or.jp/>



「愛をもって人生にエールをおくる」をキャッチフレーズに、乳幼児から高齢者まで、すべての人が生ある喜びを分かち合える理想郷づくりを目指す私たち。教育・福祉・医療・健康を通じて、多くの人の人生にエールを届けたい。利用する人、生活する人、働く人、関わる人すべてが気持ちよく明るい希望を持って過ごせる環境を作っていきたい。「環境が人をつくる、しかし最大の環境は人である」という考えから、誰もが活き活きと「隣人愛」の心を実践し、温かい環境が生まれることこそが、理想の「もてなし」だと考えています。



愛をもって人生にエールをおくる

IGLグループ

たよりIGL

エールを送るコミュニティマガジン

146号

2025年5月5日発行



IGLの夢、それはすべての人が生ある喜びを分かちあえる理想郷づくり。

巻頭特集

天皇陛下から
御下賜金を頂く

広島女学院大学とIGLのかかわり

IGLで働くひとインタビュー

サムエル園長リレーコラム

IGL医療福祉専門学校の推しポイント

特定技能外国人をインドネシアよりお迎え

教えてドクター！

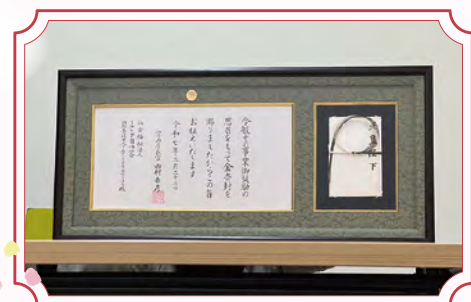
教会から「愛の手紙」

施設だより

LOVE注入レシピ

Love has just begun.
It will be stronger and never die ...

はじめに愛があった。



天皇陛下より下賜された金一封と
宮内庁長官からの伝達書

天皇陛下から御下賜金を頂く

ナーシングホームゆうゆうが天皇陛下から御下賜金を頂きました。ゆうゆうは今年でちょうど40周年を迎えました。

天皇陛下御下賜金についてですが、戦前頂いていた方、私の師匠であり元衆議院議員の方ですが、当時は不治の病である結核の人を集めて、彼(故 長谷川保先生)はその方々を助けていたのですが、村人から竹やりをもって追いかけられたそうです。

ある時燕尾服を着て県庁に来るようになると言われ、何事かと思ったら、天皇陛下からの御下賜金をもらわれたそうです。

それを村人が聞いてびっくりしたそうです。当時は現人神と呼ばれた天皇陛下からそのようなものを頂き、この人は立派な人だと、村人は今までの行為を止め、その後、衆議院議員に当選され、昭和21年以降、日本の医療と福祉の先駆者として厚生省の顧問も長年されました。

戦後日本は、スウェーデン、イギリス等を参考に完全社会補償制度を作られてきました。昭和38年に日本で最初に特別養護老人ホームを作ったのはこの長谷川保先生です。私は静岡県浜松市で初めて先生にお会いしました。私は乳幼児から高齢者にいたる人生の縮図を作りたいということをいつも父に話していたのですが、長谷川先生の広島での講演会で同じような話をしていたそうです。講演後、父がお会いすると是非浜松に越させてくださいということになり、浜松にうかがうと私が思い描いていた乳幼児から高齢者まで、大学から大学院までの施設が出来上がっていました。世界一の看護大学もありました。

「先生、この規模のミニでいいので施設を広島に作りたいです。是非、師匠になってください」と申し出たのですが、後にこんなにもすごい人だと初めてわかりました。

その先生に助けて頂きながら、ナーシングホームゆうゆうが40年前に完成しました。落成式には当時の荒木広島市長と長谷川先生も来てくださいました。その後、厚生省の方がIGLのことが東京で話題になっておりますとおっしゃいました。

一つは八角形の建物で、真ん中から360度各部屋を見渡すことができる。その建物の設計。

二つ目は「ナーシングホーム」という名前。

長谷川先生に、これからはアメリカを参考にするように助言をいただきました。アメリカに行ってみると、ナーシングホームが各地にたくさんありました。老人施設に医療が加わった施設です。そういう思いでナーシングホームと名付けましたと説明すると納得されました。ゆうゆうは、悠々自適に暮らしていただきたいという気持ちも込めています。



伝達式時の写真



広島女学院大学とIGLのかかわりについて

去る2月27日に広島女学院大学とIGLグループが提携をしました。中国新聞にも掲載されましたので、ここに記載します。

IGL学園と包括連携協定

広島女学院大(広島市東区)は27日、認定こども園や医療福祉専門学校を運営する学校法人IGL学園(安佐南区)と包括連携協定に関する協定を結んだ。

同大卒業生のIGL学園認定こども園への就職や、専門学校を卒業した留学生の同大への進学を加速させる。学生募集や、教育資源の活用でも協力する。

この日、同大で締結式があり、三谷高康学長とIGLグループの永見憲吾理事長が協定書に署名した。

(2025年2月28日中国新聞掲載)

改めてアメリカ本部のIGLとの出会いについて、まず広島女学院の宣教師から紹介されましたことからお話しさせていただきます。

昭和27年、広島女学院大学の宣教師から両親(牧師)へ相談があり、アメリカのIGLから宣教師が広島の日市市に来ている。そこで協力牧師がほしいので来てくれないかという話がありました。

当時私たちは呉市の広町に住んでおり、母が広島女学院大学へ行って話を聞き、母が父に何の相談もなく即決し、日市市に行くことになりました。

そういういきさつがあって、広島女学院大学とは色々なつながりがあり、今のアメリカにあるIGL本部とのつながりが出来ました。その後、広瀬ハマコ学院長と両親が非常に親しく、海外旅行にも一緒に行き、エチオピア、ブラジルに行きました。そのことからアメリカ本部のIGLからサポートしていただき、両親は随分助けられました。56年前に私がサムエル幼稚園をつくるときに、両親がかつてIGLから助けられたことを記念しIGLの名称を使わせていただきました。そして、開園する時、広島女学院大学の附属幼稚園ゲーンズの園長、戸波先生に非常にお世話になり、その後に鈴木園長が私どもの園長たちと非常に親しくさせていただきました。

鈴木先生は残念ながら去年亡くなりました。そして私自身は学生時代より、平和運動でバーバラ・レーノルズと広島女学院大学の宣教師ミスハートマン、ミスマクミラン先生方とも親しくさせていただきました。さらに河本一郎という方が広島女学院大学に勤めながら「広島折鶴の会」をつくれ、広島市の平和運動に長く関わっておられました。

その後に黒瀬先生が広島女学院の理事長であり、大学の学長でもあったことと、YMCAとのつながりがあったことから、私もYMCAにいましたので、その先生とも親しくさせていただきました。

その黒瀬先生にはIGLの社会福祉法人の理事になっていただきましたが、残念ながら去る1月17日に亡くなられました。

このように、広島女学院大学とは長い付き合いをして参りました。

ところが3月18日に広島女学院大学の設置者が変わるということを中国新聞が発表をし、びっくりしているところです。



提携式時の写真



エールを送る！

IGLで
働くひと
Interview一人ひとりの“思い”に応える、
ていねいな保育

たかはし ゆみ
保育教諭・正職員 **高橋 祐未さん**
2011年入職 サムエル西条こどもの園で勤務。



お仕事の内容を教えてください

2歳児担任、2歳児2部屋のリーダーとして正職員で働いています。

日頃から大切にしていることはありますか

子どもの姿から“やってみようとしていることは何なのか？そのためにどんな援助が適切なのか？”子どもの思いを汲みとり、一つひとつ丁寧に伝えていくことを大切にしています。共に働いている保育者の子どもを見る目は温かく、子どもの行為を肯定的にとらえて、ポジティブな発想にあふれています。そんな保育者一人ひとりの思いがつながり重なり合うことで、子どもたちに向けられる愛は大きく育まれていると感じています。

IGLで働いてどんなことを学びましたか

子どもたちが自ら考え行動できるように環境を整えていくことや、一人ひとりに合わせた言葉かけや見守りなどの援助の大切さを学びました。園では、自身の自主性も大切にされていると感じています。自ら希望して、園内外の研修に参加することができます。個人的には、本を読んだり、たくさんの人との出会いなどを通してアップデートしていくことを心掛けています。また、仲間と共に働くなかで影響しあい、常に成長続けていけたらと考えるようになりました。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

子どもたちが成長していく姿を日々感じ、それを保護者の方と喜びを共有できることに幸せを感じています。そして、尊敬できる人に囲まれた職場で、自然と笑顔で過ごすことができている毎日に感謝の気持ちでいっぱいです。

後輩（同僚）からのエール！

子どもの表情や仕草から思いをくみ取り、しっかり受け止める先輩です。明るい声かけや対応が、へや全体の雰囲気をも明るくし、安心感をもたらします。悩みを相談した時には、気持ちに寄り添いながら聞いてくださるので心強いです。とても尊敬している先輩です。（同僚 川辺 波奈さん）



卒園生からのエール！

サムエルで始まった
やさしさの循環

サムエル薬師が丘こどもの園
1995年卒園
くりす こうすけ
栗栖 晃輔さん
株式会社上万糧食製粉所



左は晃輔さん（本人）
右は兄の亮輔さん

サムエルでの日々を思い出すと、最初に先生たちの顔を思い出します。当時かなり母親子だった私は母親と離れがたく登園時に泣いてばかりでした。ただ、先生たちがやさしく接して下さったおかげで次第に登園が楽しみになり、泣きながらの登園が無くなったのは今でも鮮明に覚えています。

今では一緒にサムエルに通っていた兄が経営する会社できな粉などの営業をしており、薬師が丘こどもの園ではクッキング体験も実施させていただきました。

これからも子どもたちの身体づくりや健康の為に、より安全な食品をお届けしたいと思っています。



きな粉団子づくりをしたよ

乳幼児保育・教育事業 Topics 1月～4月



小さな友だちとの関わりで・・・

小さな子どもたちと出会うと自然に視線を合わせ、温かなまなざしを送る子どもたち。



どんな言葉で伝えたらいいか、どんな速さで歩いたらいいか、どうすれば履きやすいかなど、考えながら関わっています。

また、保育者から“前もって声をかけるといいよ”と教えてもらって、すぐに実践していました。



子どもたち同士の関わり合いのなかで、してもらうことを喜んだり、誰かの助けになる喜びを感じたりしながら共に育ち合い成長しています。



サムエル園長先生リレーコラム

心を育む



サムエル東広島こどもの園
新本 富子園長

子どもたちは日々あそびを通して「こうしてみよう」「あ～ダメだった」「これならどうだろう」と、まるで実験でもしているかのように、何度も何度も同じことを繰り返しては失敗しまた挑戦しつつ沢山のことを経験しています。誰かに言われるのではなく、自ら考え試行錯誤するからこそあそびは面白く、「できた!!」と誇らしそうな笑顔となり、このことがまた一つ自信へと繋がります。そこには大人の関わりもとても大切であり、「できたね」「どうやったの」「いいこと考えたね」などと共感することで笑顔もやる気も倍増します。このようにして、乳幼児期にどれだけあそんだかによって、心と頭と身体を豊かに育んでいくのではないのでしょうか。子どもの何気ない表情や姿に、日々励まされ力づけられています。



園児募集について

サムエル各園に入園をご希望される方は各園のホームページよりお問い合わせください。



こども園 総合TOP

エールを送る！

IGLで
働くひと
Interview

和のところでつながる学校づくり

かわばた かずひろ
校長 **川端 一弘**さん
2024年度入職、25年度より校長に就任。



お仕事の内容を教えてください

昨年は副校長を務め、今年度から校長になりました。「学びがい」があり、「働きがい」がある学校を目指して、学生・教職員とのコミュニケーションや連携を図っています。

日頃から大切にしていることはありますか

授業は持っていないので学生と日常的に関わる機会は限られています。特に留学生の皆さんとは言葉の壁を感じることもありますが、その分、学生とは笑顔で接し、皆さんの成長を見守ることに喜びを感じています。授業や発表を見学する際は、学生の真剣なまなざしに心の中で「頑張れ」と応援し、学校行事などで元気な姿を見て微笑ましく思っています。校長は、そのような立ち位置で学生一人ひとりの成長を支える役割だと感じながら、日々を過ごしています。

IGLで働いてどんなことを感じましたか

国家資格取得・検定合格の難しさと同時に、その強みを学びました。本校の医療・福祉の4学科では専門知識・技能の修得をめざして、留学生は日本語能力を高めて進学や就職に活かすため、勉学に励んでいます。1年間の勤務で、国家試験や日本語検定試験に合格することの難しさを再認識しました。これからの医療・福祉の人材ニーズや国際人材の必要性の高まりを考えると、資格や日本語能力の修得が非常に有用であることを確信しています。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

私は「和」を大切にしています。これはIGLグループの理念である「隣人愛」と通じるものです。思いやりに溢れ、笑顔が絶えない職場…これからも、そんな雰囲気大切にしていきたいです。

上司へのエール！

広島県立高校の校長や広島県教育委員会の要職を歴任され、学校教育に40年以上携わってこられた先生です。卓越した決断力と統率力をもって教職員を力強くリードしてくださっています。

また、テニス歴も長いスポーツマンでもある先生は、教職員にも気さくに声をかけ、常に職場の雰囲気を和ませてくださいます。(事務部長 永見 晴美さん)



卒業生からのエール！

歯科衛生士&保育士の
ダブルチャレンジ！

歯科衛生学科
2018年3月卒業
なかばやし そのか
中林 苑花さん
医療法人社団湧泉会
ひまわり歯科
歯科衛生士



子どものころよく通った歯科医院の衛生士さんに憧れて、歯科衛生士を目指しました。スクールバスで通いやすいなと思ったこと、いろいろな学科があることに惹かれてIGLを選びました。在学中は、先生が一人ひとり丁寧に指導してくださり、苦手な学科を克服することができました。親身になってご指導いただいた歯石除去の技術などは、特に今の仕事に活かされていると思います。

子どもに関わる仕事をしたいと保育士の資格も取りました。将来は、歯科衛生士として、保育士として、子どものお口の健康を作っていく仕事をしたいです。



専門学校事業 Topics 1月～4月

PICK UP！卒業式

3月19日(木)、春の訪れを感じる日差しの中、広島県民文化センター・多目的ホールにて、2024年度の卒業式が行われました。

歯科衛生学科・介護福祉学科・鍼灸学科・柔整学科・日本語学科・国際教養コミュニケーション学科、総勢189名の卒業生が、満面の笑顔で巣立っていきました。

教員と一緒に学んだ仲間、ご家族と写真を撮り合う様子は、多様性にあふれ、本校の「教員と学生の距離の近さ」を実感する場面でした。

卒業生の皆さまのこれからのご活躍を、教職員一同お祈りしています。ご卒業、誠にありがとうございます！



PICK UP！入学式

4月7日(月)、近くの平和公園の桜が満開を迎えるなか、広島県民文化センター・多目的ホールにて、2025年度の入学式が行われました。

初めてのスーツに身を包み、緊張した表情の新入生たちが新たな仲間とともに式に臨みました。

在校生による温かな歓迎の言葉に迎えられ、新入生代表の宣誓からは、新しい生活への期待と決意が力強く伝わってきました。

6学科総勢196名の皆さん、IGL医療福祉専門学校へようこそ。これから始まるスクールライフを楽しんでください！



もっと知って、IGL！

心・知識・技術を備えた医療福祉のスペシャリストを育成する専門学校。在校生が感じる「愛とつながり」の推しポイントをPick Up!

IGLのここが推しポイント 3

充実した学生生活

IGL医療福祉専門学校は、快適に学べ、安心して過ごせる環境が整っているから、毎日の学生生活がより充実したものになります。

● 無人コンビニ

エントランスホールに、無人コンビニ出現!キャッシュレス決済でご利用いただけます。校外に出ることなく気軽に使えるので、学生や教職員に好評です。



● 女子寮がある

家具・家電・インターネット完備の女子専用寮は、教員の生活サポートや防犯体制も整い、安心して暮らせる環境です。通学には無料スクールバスも利用でき、快適な学生生活を送れます。



● 無料スクールバス&無料駐車場

登下校の時間に合わせて、無料のスクールバスを運行しています。また、学生専用の無料駐車場を完備していますので、マイカー通学ができます。



● スクールカウンセラーに相談

スクールカウンセラーによる学生相談体制を整えています!どんな悩みでもお気軽にご相談ください。相談例)将来の進路についての心配ごと、クラスメイトとのかかわり、家庭での悩み など

IGLの
国家資格者養成

オープンキャンパスの詳細、進学情報はホームページから



オープンキャンパス情報

2大特色



ホームページ

1. 実技・実習にしっかり取り組む

授業内で確かな技術を習得、加えて月曜日を自由に使えるフリーマンデー制度を活用し、自主参加型の勉強会・実技講習会で実力アップ!

2. 豊富な実習先と連携。

医療福祉4学科の就職率は毎年100%!
専門学校の情報はIGL YouTube CHANNELでご確認ください! ▶



エールを送る！

IGLで働くひと Interview

思いやりと芯の強さを兼ね備えた 頼れる現場リーダー

おおき たかし
管理者・正職員 **大木 貴志さん**

1997年入職 IGLデイサービスベルビュー広島とIGLデイサービスベルビュー河原町を兼務。



お仕事の内容を教えてください

IGLデイサービスベルビュー広島とIGLデイサービスベルビュー河原町の管理者兼相談員として勤務しています。

日頃から大切にしていることはありますか

デイサービスには、曜日ごとに違うご利用者の利用があります。職員にとっては、毎週ほぼ同じプログラムですが、ご利用者様お一人おひとりの目的は様々です。中には、朝家から出るのを躊躇いながら、ご家族の後押しで利用される方もいらっしゃいます。様々な思いと目的を持ってご利用いただいているご利用者様ですが、一日の終わりに『今日来てよかった』が毎回聞こえてくるのが、私たち職員の一番の喜びです。これからもご利用者様一人ひとりの表情、しぐさ、言葉から相手の気持ちを汲み取り、状況に合わせた関りが出来る職場でありたいです

IGLで働いてどんなことを学びましたか

IGLに入職して28年目に突入しました。ご利用者様、職員色々な出会いと別れを経験してきました。良いことも悪いことも永遠には続かない。過ぎた事は思い出に残り振り返ることが出来る。今を大事に過ごす事を学びました。

普段接している職員の皆さんへメッセージをお願いします

デイサービスを通じて、ご利用者様も職員も楽しくて、毎日でも来たいと思える居場所でありたいと思います。皆様今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

上司からのエール！

常に「その場所」に活力を与えてくれて、ユーモアたっぷり、行動力も半端なく、遠くにいても声が聞こえてくるぐらい、ここまでの存在感を持った方には未だ出会ったことがありません！人一倍気遣いもできる人なので、心身共にこれからもみんなを引っ張ってもらいたいです。(信愛の郷施設群管理者補佐 世羅 俊樹さん)

IGLでは、出産・育児休業制度を安心して活用でき、復帰しやすい職場環境が整っています。

活躍するあなたへエール！

IGLデイサービスシャレー
さこだ みずき
迫田 瑞希さん



経歴を教えてください

2016年12月1日入職 IGLナースিংホームシャレーで介護士として勤務
2020年 出産・育休取得後に復職(IGLナースিংホームシャレーで勤務)
2025年3月1日～ IGLデイサービスシャレーで介護福祉士として勤務中

IGLで学んだこと等を教えてください

介護知識、経験もない中で働く事に不安があり悩んでいたところ、IGLが取り入れているエルダー制度を知り、魅力を感じました。またIGLには数多くの福祉施設があり、介護を知り、自分が活躍できる場所があると思いました。

この仕事を通して学んだ事は人生の背景を知り、寄り添うことです。困っている人や助けが必要な方の今だけではなく、今までの習慣、環境などを知る事でアプローチ方法も増え、課題が解決し、ご利用者様の笑顔が見られた時、この仕事にやりがいを感じます。



サムエル広島こどもの園に通わせながら
介護の仕事をされています。

高齢福祉事業 Topics

IGLデイサービス美鈴が丘 1月～4月

「IGLデイサービス美鈴が丘」は、佐伯区にある美鈴が丘団地に2011年12月より開設されました。団地内の一角に道路を挟みサムエル美鈴が丘こどもの園。そして隣には広島福音教会があります。美鈴が丘団地も今年で47年を迎え、団地内の高齢化も進んできています。美鈴が丘にデイサービスが開設され14年、地域に根差したデイサービスを目指しています。



通所サービス

● IGLデイサービス美鈴が丘

IGLデイサービス美鈴が丘では、お茶会・健康体操教室をはじめ、色々なアクティビティをご用意しております。そして、地域の方々との関りを深めていく中で、公民館活動のサークルの方々に声掛けし、ご利用者様と地域の方々が一緒に楽しみ、参加できるコンサートを開催しております。



特定技能外国人を インドネシアよりお迎えいたしました。

2025年2月19日 雪がちらつく寒い日でしたが、インドネシアから10名の特定技能介護職員の皆さんを迎えました。

初めての日本、初めての雪景色に興奮気味。到着後、区役所での転入手続きや、日本での生活について知っていただくために、生活オリエンテーション、そして、法人の一員となる辞令交付を行いました。

続く2日間の法人内研修を行った後、各施設での勤務がスタートしています。来日したばかりで、まだまだ言葉の壁を感じることもあると思いますが、持ち前の明るさと前向き努力で、日々成長しています。

私たちも、彼らが安心して日本で活躍できるよう、日本語学習を全力でサポートしていきます。温かい目で見守り、応援していただくと嬉しいです。一緒に日本の文化や言葉を学び、素敵な思い出をたくさん作りましょう！



辞令交付の様子



来日直後の皆さん



辞令後、施設で研修を受けました

ようこそIGL不動産事業部へ

皆様、初めまして株式会社アイジーエルの不動産事業部です。この度は不動産事業部についてお話をさせていただきます。

立ち上げに至った経緯に関しましては、経営理念である「隣人愛」を主に皆様にとっての生活のサポート事業が株式会社アイジーエルでもお手伝い出来ないかという考えで、この度不動産事業部をスタートすることになりました。

事業内容といたしましては、主に不動産に関する仲介事業、賃貸、土地販売もしくは建売といった事をメインにお客様、お取引先様は当然の事、IGLグループに関わる皆様へ素敵な住まい探し、業者でしたら理想の土地探しを全力でサポートいたします。

次に私達、不動産事業部の事務所についてご説明いたします。場所は上安の老健ベルローゼ低層棟3階、廊下を進んで奥の部屋がアイジーエル不動産事業部の部屋となっております。

従業員は、不動産事業部所長の高橋朋弘、宅地建物取引士の宇吹昭子、溝田妃奈子が皆様をお待ちいたしております。

普段の業務は、土地に関する情報展開(写真記載広告も含む)・各事業所、お客様への営業訪問・契約書、又はお客様のご相談等々になります。

お客様に来ていただけるように様々な特典もご用意させて頂いておりますのでお気軽にご相談ください。

皆様のお越しを楽しみにしております。



お問い合わせ

株式会社 アイジーエル
不動産事業部

TEL 082-830-3007

E-mail igl-fudosan@igl.or.jp

レーナ・マリアさんのコンサートが広島で開催されました。

2025年4月4日(金)、安佐南区民文化センターにてレーナ・マリアさんのコンサートが開催されました。
IGLは、レーナ・マリアさんのコンサート広島公演に協賛し、地域の皆様に愛と希望のある歌声をお届けしました。



Lena Maria Profile



1968年、スウェーデンの中南部の村ハーボに生まれました。生まれつき両腕がなく、左足は右足の半分の長さしかないという原因不明のハンディキャップを負う。3歳の頃から水泳教室に通い、18歳の時、世界障がい者水泳選手権にスウェーデン代表として出場、多くの選手権にて数々のメダルを獲得した。

1988年のソウル・パラリンピックにおいても好成績をおさめた。音楽においては、高校の音楽専攻科からストックホルム音楽大学にて音楽を学び、卒業後、ゴスペルシンガーとして音楽活動を開始、多数のCDを制作し発売する。1991年日本のテレビで紹介されたことがきっかけで、何度も日本に來日し、コンサートや、学校訪問などを通して、多くの人々に励ましを与えている。

1998年、長野パラリンピック(冬季)の開会式や善光寺で歌い、2003年12月の富山コンサートを持って、全県でのコンサート開催を達成。

2013年には、マンガによる彼女の伝記本の売上が、ヘレン・ケラーに続く第2位だと紹介される。2017年にはパトリック・ヴェンデルウス氏と結婚、来日25周年記念コンサートを行なった。

2020年に企画されていたツアーは新型コロナウイルスのため、中止となり、その後日本でのコンサートは開催されていない。

戦争、災害、異常気象などで、世界中に不安が広がる中、レーナからもう一度來日し、自らの歌を通して神の愛を伝えたいとの強い要望があり、その願いを叶えるために、2025年の春のコンサートツアーが実現した。



教会から「愛の手紙」

自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい

IGLグループ・チャプレン 岩崎光洋先生



IGLグループはキリスト教精神を土台としています。そして理念として「隣人愛」という言葉を掲げています。この「隣人愛」は聖書の中にある「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」(マタイによる福音書22章39節)という言葉から来ています。2000年近くに活動していたイエス・キリストという人物が、ある人からの「聖書の中でどれが1番大切な教えですか?」という質問に対して答えたのがこの言葉でした。また聖書の中には「信仰と希望と愛、この中で最も大いなるものは愛である」という聖書の言葉もあります。宗教というのは、信仰を広め信者を増やすことを目的とする性格を持っているものです。しかしキリスト教は「信仰」よりも「愛」のほうが大切だと言い切ります。

今日の私たちは多くの場合、「愛する」と聞くと「相手を好きになる」とことだと考えます。しかし聖書が本質的に語る「愛」は必ずしも「好きになる」ことを意味してはいません。聖書が語る「愛」は「相手を大切にすること」という意味を持っています。つまり聖書の語る「愛」は「好き、嫌い」という感情表現の言葉ではなく、「相手をどう扱う

か」という行動を表わす言葉なのです。イエス・キリストが「あなたの敵をも愛しなさい」と言われた事があります。「敵を好きになりなさい」と言われても、これは不可能です。嫌いだから「敵」なのであり、自分を攻撃してくる相手を「好きになろう」と思っても感情はついて来ないものです。しかし「愛」とは「相手を大切にすること」です。心の中で相手を憎々しく思っている、相手が困っていたら、心の中の感情をグッとこらえて「仕方ないなあ、面倒だなあ」と思いついて相手にも助けの手を差し伸べていく。そんなあり方が、聖書が私たちに教えている「愛する」というあり方です。

目の前にいる人を「愛し」ながら今日という1日を過ごすことによって、平和と喜びが世界へと広がっていく。そんなイメージを持ってIGLグループは歩んでいます。

